

皆さんのもつと身近に訪問看護を

匝瑳市訪問看護ステーションつばきの里 出張所「サテライトのさか」開設

匝瑳市民病院内に事務所を置く「匝瑳市訪問看護ステーションつばきの里」が、出張所として「サテライトのさか」を野栄福祉センター内に開設し、10月3日からサービスを開始します。サテライトの開設で、より身近に訪問看護が利用できるようになりました。

「訪問看護を ご存知ですか」

訪問看護とは、病気や障がいを持った人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるよう、看護師などが自宅など生活の場へ訪問し、療養生活を支援するサービスです。

現在わが国では、「早期退院」「在宅療養」が医療における考え方の中心となっていて、病気や障がいを持っていても自宅などの地域で暮らすことが推進されています（これを「地域包括ケアシステム」と言います）。

匝瑳市訪問看護ステーションつばきの里では、住み慣れた家へ生活を送りたいと願う一人ひとりの希望に応じた

サービスを行っています。専門の看護師や理学療法士が利用者の家庭を訪問し、適切な判断に基づいたケアとアドバイスで24時間365日対応し、安心して在宅での療養生活を送れるように支援しています。

出張所の開設で広域な サービス提供が可能に

つばきの里の事務所は市民病院3階にあり、ここから20km圏内を看護やりハビリティションのサービス提供範囲としています。しかし、訪問エリアが広域となっているため、1日の訪問件数に制限が出てしまっています。

そこで、より広い地域の皆さんに訪問看護を利用してもらうため、つばきの里の出張所として、「サテライトのさ

か」を野栄福祉センター内に開設します。これにより、サテライトからおおよそ15km圏内（海岸沿いの山武市蓮沼から旭市までの範囲）での訪問看護が可能になりました。

訪問看護は子どもから高齢者まで利用できます

かかりつけ医に訪問看護が必要と認められた人は、赤

匝瑳市訪問看護ステーション

つばきの里

☎79-1101 (匝瑳市民病院3階)

サテライトのさか

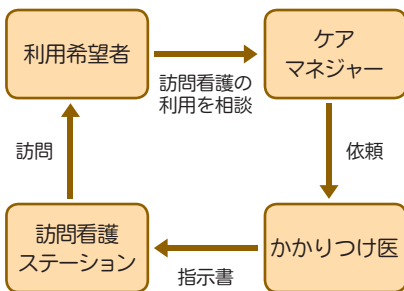
☎67-2115 (野栄福祉センター内)

月～金曜日・8時30分～17時15分

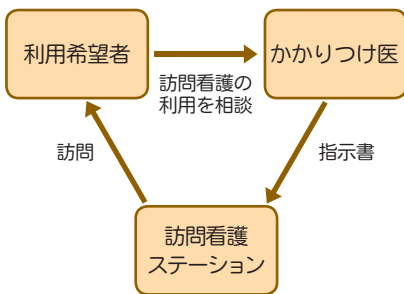
※訪問看護についての相談はつばきの里へ

◆訪問看護の申し込み

《介護保険を利用する場合》



《医療保険を利用する場合》



ちゃんからお年寄りまで、どなたでも訪問看護を利用することが出来ます。

介護保険の要介護認定を受けている人は、かかりつけ医または担当のケアマネジャーへ、そつでない（医療保険で利用する）人は、かかりつけ医へ訪問看護の利用を相談してください。医師の指示により、訪問看護を受けることが



急募 臨時職員

訪問看護ステーションで一緒に働く看護師を募集しています。勤務条件などは、ホームページで確認するか、お問い合わせください。

可能です。

かかりつけ医が市民病院以外の病院や診療所の医師の場合でも、つばきの里への依頼、利用が可能です。

訪問看護ステーションで一緒に働く看護師を募集しています。勤務条件などは、ホームページで確認するか、お問い合わせください。

募集人数：看護師2人
試験日：10月18日（火）※面接試験 申し込み：14日（金）までに、履歴書兼申込書を市民病院事務局（〒289-1214 匝瑳市八日市場イ1304番地）まで郵送または持参してください（期限日必着）。

今年度は「栄養」をテーマに紹介しているこのコーナー。今回は、入院治療を受けている人とその家族に役立つ食生活に関する病棟看護師の働きかけと退院指導を紹介します。

食べたいもの 食べられていますか? (3)

病棟看護師 鈴木 勝信

な役割を担っています。

病棟看護師の役割・働きかけ

市民病院は、内科系疾患の治療を行う内科病棟と消化器外科・整形外科の治療を行う外科病棟に分かれていて、両病棟に勤務する看護師は、入院治療を受けている人（入院患者）の食生活に関して重要

病棟看護師は、入院時に作成される「栄養管理計画書」（入院時の患者の栄養状態やリスク、課題などを詳細に記して誰が見ても分かるようにした資料）の内容や、基礎疾患に対して医師から指示された治療食が、「どれぐらい食べられていますか」「アレ



食事をとる入院患者に話しかける看護師。入院中から退院に向けて、適切な栄養が取れるように指導を行う

ルギーやどうしても食べられない物はないのか」を常に確認し、医師や栄養士と情報交換・連携を取りながら食事の摂取量が増えるように調整をしています。また、食事姿勢や嚥下機能、食べ方それぞれの問題の有無などを観察し、状況に応じて医師と相談して、言語療法士の介入指示を依頼します。

また病棟看護師は、食生活に関係する各職種との連携窓口としての重要な役割を担っています。そして、そこから得られた情報を、入院患者とその家族へ説明・指導するという形で情報提供を行い、食生活に関する問題解決ができるよう働きかけを行なっています。

退院指導

入院患者とその家族が退院した後には困らないようにするための指導のことを「退院指導」と言います。市民病院では、患者それぞれの疾患などに応じた手作りパンフレットによる説明・指導を行っています。

また、必要に応じて、治療を受けている本人と調理を担う家族が退院後に困らないよう、栄養士や調理師の説明を受けながらの調理体験指導や、

医師の指示を受けた栄養士が行う栄養指導の調整も行っています。

疾患によって、食生活の改善や、糖質、塩分、脂質、たんぱく質などの各種の制限が必要となります。「難しくて困ったな」と悩まずに、医師や看護師に相談することで外來でも栄養指導を受けることができますので、気軽に相談してみてください。

地域医療

<5> 病状変化時の対応

地域医療に関するトピック連載の第5回は、在宅医療の事例として、自宅療養中に病状変化が起きてしまった場合の対処について紹介します。

療養者が訪問看護サービスを利用して居る場合は、すぐにサービスの提供事業所へ連絡して状況の説明を行ってください。このとき、訪問看護師から対処法の指示があります（市民病院内の訪問看護ステーションは24時間対応ですが、そうではないところもあります）。訪問看護サービスを利用していない場合は、かかりつけ医に連絡し、指示に

応じた対処をしてください。

緊急な状況で入院となった場合は、普段関わっていただいている関係者（かかりつけ医やケアマネージャー、訪問看護師など）に連絡を取りましょう。今後の療養生活について相談に乗ってください。

救急診療を受ける場合、かかりつけ医からの診療情報提供や訪問看護サービス事業所からの看護要約は重要な情報源として利用され、医療連携がスムーズに行えるように体制を整えられています。

次回は、在宅酸素療法と呼び吸管理に関して紹介します。

※14、15ページの問い合わせは市民病院 ☎72-1525へ

ジャパンマンモグラフィーサンデー 乳がん検診を受けましょう

日時…10月16日(日) 9時~16時 定員…22人(申し込み順) 内容…マンモグラフィー検査(乳房レントゲン線検査) 費用…3,000円(税込) ※事前予約制です。市民病院まで申し込んでください。なお、受診には一定の条件があります。